

KIRAMEKI
八幡平市商工会
女性部会報

No.30
2024.2

発行 八幡平市商工会女性部
八幡平市大更35-63-85
Tel 0195-76-2040
Fax 0195-76-2145

部長あいさつ



八幡平市商工会
女性部 部長
宮野 千栄

謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年は、もいり市やおもてなし交流事業、コラボ事業等のプロジェクトイベントを成功させ、部員の皆さまとの結束力に改めて感動する年でありました。心から感謝申し上げます。
今年も辰年…十二支の中で最も縁起の良い干支と言われますが、あらゆる物事を良い方向へ導いてくれるとされています。
部員一丸となりパワーを発揮すべく、より一層フクフクする楽しい事を企画し、八幡平市を盛り上げましょう！

宮城県の震災遺構を訪れて

部員十七名参加の下、久しぶりに遠出の視察研修となり大型バスは安代を早朝七時に出発し、本所で更に参加者が乗りバスは宮城へと向かいました。

当日は朝からどしゃぶりの雨でしたが、久しぶりの視察研修でしたので気持ちは晴れやかな気分!!

始めに訪れた所は、震災遺構仙台市立荒浜小学校。四階建ての校舎は二階まで津波が押し寄



被災した街に新たな賑わいを
次に向かったのは「アクアイグニス仙台グリーチネ」でのラ

震災復興からの『今』
再び人々が集う
賑わいの拠点へ
視察研修 in 宮城
令和5年
9月6日(水)



ンチ。震災後、集団移転跡地に再び人々が集える空間を作ることを目指した食・農・温泉の複合施設。日本イタリア料理日高良実シェフ監修の旬の食材を使った料理は、昼からグラスを傾け華やかな気分にしてくれるお料理でした。雨が強く降り出した「かわまちてらす閑上」。食事を終わらせたばかりでしたが、軒下の飲食店街は魅力的なお店が多くお土産をゲット。最後に「フーズガーデンゆりあげ食彩館」に寄りました。大きなスーパーは品揃えも豊富で、女性ならではの視点でお買い物。食卓はフランクアップ。皆さんと親睦を深めお陰様な視察研修でした。(伊藤規子・遠藤真最)

通常総会開催

in 静流閣

令和5年
4月19日(水)

毎年の事なのに程良い緊張感で始まった総会。決して嫌いではありません。この歳になると緊張する機会がめっきり少なくなるので。

今年は、司会進行を担当。提出された議案は、全て原案どおり可決され、ホッと一安心。

来賓でお越しいただいた佐々木市長から、今後の観光業の方向性や女性活躍できる市のあり方等を熱く熱く語っていただきました。

総会後には静流閣さんが令和四年四月にリンベーションした、ワーケーションルーム・コワーキングスペースを見学しました。世の中の情勢が目まぐるしく変わるこの時代、しなやかに仕事が出来れば良いなと感じた日でした。(宮野 志乃)



八幡平市クラフトイベント moiri-ichi

もいり市

令和5年
6月4日

「八幡平市でクラフトイベントを！」と有志4名で立ち上げた「もいり市実行委員会。メンバーは、tamari黨の高村麻里さん、トキノハナの濱畑綾那さん、カフェ&スナックFikaの工藤美也香さん、たのしいまち研究所の田村希さん。女性部では、一緒に町を盛り上げようと共同で事業を実施し、訪れる人も出店する人も楽しめるイベントになりました。

【もいり市の由来】八幡平市の特徴である自然豊かな森を感じる場所で家族の温かさに触れるようなイベントにしたいという思いから「森」とアイヌ語の家族を表現する「iri」を合わせた造語です。

もいり市開催のきっかけ

令和四年の暮れに私が商工会さんに相談したのがきっかけでした。当時出産を機に仕事をセーブしており、社会的にもコロナ禍ということで今まで積極的に参加していた遠方のクラフトイベント出



店がとても難しい状況でした。そこで、子育てをしながら工房の近場で作品に触れてもらえて、自分自身も心が潤うような素敵な作品を見たり購入したりできるイベントが八幡平市であつたらいいなという思いから「もいり市」が誕生しました。同じ想いを抱えていた実行委員のメンバーや様々な面から協力して頂いた商工会女性部

実行委員として参加して

私は、生花をドライフラワーにし、リースやブーケなどにアレンジし販売しています。普段は出店者側としてイベントへ参加することはありましたが、今回は初めて主催者側の立場としてイベントへ協力させていただきました。

昨年の秋、高村さんから八幡平市でクラフトイベントをやりたい！というお話をいただき、私



の皆さんにはとても感謝しています。取り敢えず第一回開催を事故や大きなトラブルもなく終えることができてほっとしました。

実行委員は既に次回開催へ動き出しています。前回の反省を踏まえ、より魅力的なイベントに成長させていきたいと思っています。

(tamari黨 高村 麻里)

も同じ市内で活動している作家(作り手)として何か出来ないかな〜と欲していたところでした。昨年の冬から何度も打ち合わせを行い、イベントへのごだわりは妥協したくない気持ちと限られた人数でどこまで力を加えられるか。第一回ということもあり出店者への声掛けも苦労しました。

当日は悪天候の中、沢山の方に来場いただきましたが、天候への配慮がたりなかったこと、予想を超える来場者数だったことなど、反省点、改善点が明確になりました。次回は、八幡平市の魅力を更に伝えられるイベントにしたいと思います。

(トキノハナ 濱畑 綾那)



チラシデザインも自分たちで

私は今回、外での出店に加えてチラシや会場マップ等の印刷物のほり旗、インスタグラムの開設など主にデザインの部分を担当させて頂きました。

実際に「もいり市」のチラシはお手に取って頂けたでしょうか？当日は悪天候でしたが、会場に足を運んで頂けたでしょうか？中には「インスタ見えます！楽しみです！」と声をかけて下さった方もいました。少しでも多くの方の心を動かし、楽しんでもらえるデザインを目指して取り組みました。反省や改善は様々ありますが、沢山の方の協力があつてのイベントだと思っています。

「もいり市」が八幡平市内外問わず、より成長し愛されるよう寄り添っていこうと思っています。

(カフェ&スナックFika

工藤 美也香)





▲地熱染を手にする大仙市の皆さん

八幡平市内にて大仙市商工会女性部の皆さまとおもてなし交流事業を開催。八幡平市を満喫していただき、絆を深めたい！そんな思いでお待ちしております。

まずは松川地熱発電所にて冷却塔と地熱館を見学しました。機械遺産に指定されているものの来年

には撤去されてしまう冷却塔は高さ四十六メートルと圧巻。その後松川温泉の地熱蒸気を利用した世界でも他に類を見ない「八幡平地熱蒸気染色」を体験していただきました。染色作家のアドバイスを受けて絞りや着色作業を思い思いのイメージを膨らませながら進めるものの「大丈夫かしら？」「どんな作品になるかしら」と不安と楽しみの入り混じった会話が飛び交いました。休憩時には憐ふうせつ花の豆乳ワッフルと紅茶をお楽しみいただきながらスカーフの巻き方講習で盛り上がり女子力UP！

その後、一回は昼食と交流会場の「八幡平ハイッ」へ移動。双方の部長挨拶の後、食事をしながら部員交流をしました。参加者は

「彩り豊かで目でも楽しめるお膳を美味しくいただきながら、和やかな雰囲気でおもてなし交流できました」とのこと。事務局からの活動報告、そして午前中に体験した地熱蒸気染色の作品も皆様のお手元へ届き、オンラインワンの自作スカーフを素敵に巻いて集合写真を撮りました。

ハイッを後にして最後に向かったのは、焼走り熔岩流。黒くゴツゴツした熔岩の道に皆様驚かれています。火山は自然災害にもなりますが、わたしたちの生活へ大きな恵みをもたらしてくれています。大仙市部員の皆様には美しい安代りんどう、御安比まいたけの乾燥まいたけ、御羽沢製菓のオレンジピールせんべい＆珈琲、そして勝田屋のピリ辛醬油麹。八幡平を代表する美味しい【食】をお土産としてお持ち帰りいただきました。

豊かな地域資源を活用している八幡平市の食文化、工芸品に触れ、五感で楽しむ中で、双方の部員が情報交換や新たな出会いで輪を広げることができ、まさに「心満ちる彩りの旅」八幡平市女性部のおもてなし事業となりました。

(鈴木 絵美)

心満ちる色彩の旅

八幡平市の地域資源・食文化と工芸で、広がる交流の輪



令和5年
11月2日(木)



大仙市・八幡平市商工会女性部部員交流会

商工会女性部員のお店で普段は取扱いをしていない八幡平市のお店の商品を期間限定で展示・販売・ご紹介する事業です。



はち暮コラボを開催 開催期間：12月1日(金)～25日(月)

キッチンカフェかっぱ 小林 加奈子

この事業に取り組むことで、勝田屋さんを知ることができたしつながりを持てたことが良かったです。新しいことにチャレンジするきっかけになりました。



映雲荘 高橋 孝子

八幡平市内の物作りをなさっている方を知ることができたし、その方々とのつながりが出来て良かったです。お客様も展示を見て色々な感想を仰ってくださいましたので良かったです。



カフェ&スナックFika 工藤 美也香

念願のtamari窯さんとのコラボはとても楽しく、驚くほどあっという間でした。スイーツやプチショップのどちらも好評で、お客様には楽しく地元の温かみを感じられる豊かな時間を過ごして頂けたのではないかな、と感じています。



みどり美容室 宮野 千栄

お客様が地元の方のコーヒーや素敵なサシェをご覧になって、若い人も頑張っているんだなあと思っていました。



新安比温泉静流閣 橋本 英子

静流閣ショップに八幡平地熱染めをおいて頂きました。華やかで素敵なコーナーに足を止めていただいています。

ノレグレット 立柳 美加

今回は宣伝する時間も少なかったのですが参加者が少なかったけれど参加して下さった方はとても喜んで下さったので良かったです。



ミヤノエネルギーサービス 宮野 志乃

普段お見えにならないお客様もお店をのぞきにきて下さいました。



県央ブロック

研修会

in 岩手町

地域の特色を
活かした魅力を発信!

令和5年
9月27日(水)



集会所でもあった道の駅「石神の丘」の産直・物産コーナーは県内外のお客様で賑わっていました。

岩手町のバスで北上川源流の御堂観音境内湧水を見学。源義家伝説の「三弦(ゆはづ)の泉」に不思議なパワーを感じたのは私だけではないと思います。

浮島地区田んぼアートでは数種

類の苗の植え付け作業が大変細かい工程であるなど苦労話を聞かせていただきました。その努力あつての美しさです。

岩手町総合運動公園では「モビリティコート岩手」を見学。コンテナホテルですが外観の印象からは想像出来なかつた高級感(失礼)と広さに感動。コンセプトである町内の

収益を考えたシステムの一つがデリバリーでの食事提供です。また、災害を見通しての利便性など多くを学ばせていただきました。

地産中心のランチメニューを石神の丘レストランで堪能しながら他の市町女性部の方々と交流出来た良い時間でした。近くて見落としがちだった岩手町の魅力を再発見した研修でした。(宮野 志乃)



ハンギングバスケット製作

令和5年
6月9日(金)

荒屋地区の商店街を花で飾ろう

強い太陽の日差しにも負けず、元気に育ってくれているベゴニア達。荒屋地区の商店街を花で飾ろうとハンギングバスケット製作に精を出したのが六月初旬でした。

久しぶりに会う皆さんと世間話

しをしながらでも、しっかりと手は動き、時には「アッ花が一個余った!」と、大笑いしながら予定より早目に植え込む事ができました。(さすがベテラン揃い)

二ヶ月以上過ぎた今、枯れ花を取って下さる方、追肥、水やりを気にかけて下さる方、本当にありがとうございます。どうか秋まで元気に咲いてくれますように!!

「今年は花フェスタなの?」と、時々尋ねられますがいつか、復活

できたらと願っています。

荒屋新町が三月に無人駅になって早五ヶ月。私の子供達が利用していた頃は、送迎のため駐車場スペースもなくなる程混雑していました。せめて、花壇をきれいにと思い花々を植えているのですが、いつの間にか雑草の方が元氣になつてしまします。今夏こそ、それぞれの花を美しく咲かせてあげたいと思っています。(小船 友子)

不動の滝まつり

今年のさくらは散るのが早かった。

でも、不動の滝の桜は祭りを待っている様に満開♪久しぶりの祭りにマスクをした来場客も笑顔。民謡や、踊りが行われる頃には散りはじめました。

女性部では、コーヒーや舞茸ご飯、ワッフル、せんべい、こうじ、わらび等を販売しました。

ようやくきた春を楽しんだお祭りでした。(吉田 賀子)

令和5年
5月3日(水)
八幡平市
桜松公園



花いっぱい運動

商工会の日・記念事業

令和5年
6月12日(月)
八幡平市
サラダファーム

サラダファームにおいて花

いっぱい運動が開催されました。この事業は「商工会の日」に毎年行われているもので、今年も青年部員の協力のもと、女



性部員二十名が参加しました。

五十個のプランターにベゴニアを植える作業は土入れから始まり大変な作業でしたが、みんな協力して楽しく作業することができました。このベゴニアを見てつらかったコナを忘れてもらえればと思います。(関 節子)



きれいに咲いてネ~



▲4人で参加して来ました

九十名参加のもと開催された主張発表岩手県大会においては、県内四地区代表の方が発表し、最優秀賞に遠野商工会女性部の前川敬子さんが受賞されました。「女性部活動と地域振興、まちづくり」をテーマに、遠野町家のひな祭り・四半世紀を迎える」と題し、古くから遠野に伝わる雛人形を町内に飾りお客様をおもてなしする女性部員さんの事業について発表されました。街で行われるイベントの開催に遠野女性部員さんたちのおもてなしの心と団結力を感



商工会女性部
主張発表岩手県大会

令和5年
6月2日(金)

レポート

しました。
講演は、遠野市出身の落語家、六花亭遊花さん。「なまつて 笑って」「コミュニケーション」と題し、幼少期の祖母との思い出話や東北弁でアレンジした古典落語などを拝聴しました。初めから終わりまで涙が出るほど笑ったのは久しぶりで、楽しいひとときでした。

(小山田 あゆみ)

東北六県・北海道
交流研修会inやまがた

令和5年
7月25日(火)
～26日(水)

主張発表の最優秀賞に輝いたのは、宮城県代表の高橋知子さん！秋保温泉 緑水亭の女将さん。講演が始まったか？と思うほどの堂々たる発表。おもてなし交流事業を通して地域の魅力を再発見し、いろいろな気づきから地域の特性を生かした自分たちの強みを再確認。仲間と力を合わせ、女性部活動や地域振興、まちづくりをしようとする内容でした。改めて秋保温泉に行ってみたいなと思いました。
基調講演は、美容家の君島十和子さん。ライフスタイル本『アラ還十和子』を発売。五十七歳になられたそつで、お肌が本当に綺麗



▲宮城県代表の高橋知子さんと

でキラキラしてました。

二日目は『GEA』を視察。一九三三年に創業した紡績・ニットメーカーの佐藤繊維株式会社。二〇一五年にオープンしたセレクトショップです。オバマ元大統領夫人が着用されたニナ・リッチのカーディガンに糸が使用されたことも！しっかりと目の保養になりました。

(宮野 千栄)

商工会女性部全国大会
inしずおか

令和5年
10月17日(火)
～19日(木)

「ふじのくに静岡から、今こそ笑顔で前進！豊かな海と山の魅力でおもてなし」をスローガンに、全国から二千二百人ほどの女性連が集いました。
主張発表では、九州ブロックの長崎県 対馬市商工会女性部の小川博子さんが最優秀賞に輝きました。島の活性化を考え、ひなまつり事業や、三千本のひまわりの植栽、スケッチやフォトコンテスト



▲浜松城の前で記念撮影

に繋げて来場者を確実に増やしていったことなど、地域に根差した活動の発表でした。

また、今年度、当女性部でもご支援いただいた「女性の創業等支援助成金」の目録贈呈が行われました。本助成金は、地域経済及び女性部事業の活性化を目的とし、女性による創業または経営革新への取組み事例に対して全女性連が支援・助成を行うもので、「もいり市」と「はち暮クラブ」はこの助成金を活用し実施しました。

全国の女性連のパワーを富士山のもとで吸収してきました。元気で刺激がたっさん！みんなパワフルで、意気揚々としています。前向きでポジティブでいること！興味をもち好奇心旺盛で笑顔でいること！！これを今度は部員で共有します。

(宮野 千栄)

事業報告 ボランティア活動



- (公財) ジョイセフの母子支援活動(県女性連事業)
書き損じはがき61枚
- 岩手県社会福祉協議会のいわて車いすフレンズ活動支援
使用済み切手2,121g

部員増強で表彰

令和4年度に実施した女性部組織強化運動において、部員増強第一位となり、令和5年5月9日に開催された岩手県商工会女性部連合会通常総会の席上で表彰されました。

また、令和5年11月22日、第63回商工会全国大会の席上において、女性部功労者として宮野千栄女性部長が全国商工会連合会長表彰を受賞しました。





▲自分スタイルのスワッグ作りを楽しみました

丁寧な指導で難しい作業も
スイスイ進みます



(千田 亜美)

所まで美しく完成。講習後はドライフラワーに魅せられた経緯などを伺い共感し、互いの親睦が深まりました。

スワッグとはドイツ語で壁飾りの意。講習は解説から始まりました。花材はドライフラワーのほか赤が映えるローズヒップ、ポップコーンのようなナンキンハゼなど珍しいものも。クリスマスでは生命の象徴にモミの木が定番ですが、乾燥すると葉が落ちるため別のコニファー三種が活用されました。「三種の針葉樹を組み合わせ、ベース部分を

作ってください。」「いよいよ制作開始です。花材をぎこちなく手に取りましたが、魔法に掛かったように私は夢中でアレンジに没頭していきます。半乾きで用意された一部の花材は、向きを変え表情を生み出す楽しさが味わえました。寄せ留めた部分を始末するコツを学び、見えない箇所まで美しく完成。講習後はドライフラワーに魅せられた経緯などを伺い共感し、互いの親睦が深まりました。

ドライフラワー ワークショップ クリスマス スワッグ作り

令和5年
11月27日(月)



×ストップマーク貼り付け×

「ストップマーク」は横断歩道の手前で一時停止して道路を注意して渡る様に促す歩行者向けの目印です。今迄、私自身気に掛けた事の無かったストップマークですが今回女性部の活動として、開福酒店T字路前の横断歩道の貼り替え作業を行いました。可愛らしいパンダの絵柄を見て、低学年から高学年迄の児童は確実に一旦停止してくれることでしょう。

事故が起きてからでは無く、色鮮やかなステッカーは地域から子供達への確実な注意喚起となると思います。

(遠藤 真最)



編集後記

四月の総会で役員改選、会報委員会も新メンバーでスタート。新事業や「おもてなし交流事業」等戸惑いとチャレンジの多かった一年でした。

開けて早々、能登半島地震や羽田の航空機衝突事故。今年は辰年。「八幡平ドラゴンファイ」に日々穏やかにと懇願したいと思いました。

(小船 友子)

佐藤さくら さとう さくらさん



メナード
★フェイシャルサロン★
大更

安代地区で、夫と子供達、夫の両親と祖父母あわせて9人の大家族で暮らしています。約15年前に美容の仕事を始め、やりがいと楽しさを感じたことから2018年に独立し大更にサロンをオープンしました。女性の笑顔が増えることで、社会が明るくなると信じ活動しています！大切にしているのは「正直営業で安心できるサロン」です。

高橋典恵 たかはし のりえさん



森のイタリアン
★La mia mamma★

長野県で半世紀以上過ごしましたが、家族との別れに直面し、岩手県への移住を決定。八幡平の雄大な自然に囲まれながら過ごす中で、65歳の時に夢に思い描いていたイタリアンレストランを起業。あっという間に今年70歳になります。

新入部員紹介 Introduce new members

菅原 葉子 すがわら ようこさん



★田村車輛整備★

今までは外で働いていましたが事務をやることになりました。不安や心配な事がありますが、愛犬のもふもふパワーに癒されながら頑張っていこうと思います。

川村 由里 かわむら ゆりさん



★Kawamura★

主に八幡平市大更を中心にアパートや戸建てを賃貸し管理をしています。夏は大更八坂神社祭典で家族一丸となり、山車の巡行の代表として43年携わっています。

自宅には、母、弟家族と共に、三世帯で住んでおります。私達は、3人の子供に恵まれ、賑やかに毎日過ごしています。